制定日：2009 年 11 月 30 日
改定日：2024 年 01 月 18 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	：	ハーモニー洗浄剤
供給者の会社名称	：	ホクサン株式会社
住所	：	〒061-1111　北海道北広島市北の里 27 番地 4
担当部門	：	農業科学研究所
電話番号	：	011-370-2103
FAX 番号	：	011-370-2070
緊急連絡先	：	営業部　業務課
電話番号	：	011-370-2333
e-mail	：	gyoumuka@hokusan-kk.jp
推奨用途	：	洗浄剤
使用上の制限	：	洗浄剤以外の使用を推奨しない
整理番号	：	D-3

2. 危険有害性の要約

【化学品の GHS 分類】

健康有害性	：	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
		眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
		特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（呼吸器系）

＊上記に記載がない項目は、GHS 分類基準に「分類できない」又は「区分に該当しない」。

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル　：

注意喚起語		：	危険
危険有害性情報		：	H315 皮膚刺激
			H318 重篤な眼の損傷
			H370 臓器（呼吸器系）の障害
注意書き	安全対策	：	P264 取扱い後は手及び眼をよく洗うこと。
			P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
			P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
			P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
	応急措置	：	P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の流水と石けん（鹸）で洗うこと。
			P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。
			P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。
			P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
			P310 直ちに医師に連絡すること。
			P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

保管　：　P405 施錠して保管すること。
廃棄　：　P501 内容物／容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　化学物質
化学名又は一般名　：　消石灰（水酸化カルシウム）

慣用名又は成分	濃度範囲（%）	官報公示整理番号	CAS No.
水酸化カルシウム	～100	1-181（化審法・安衛法）	1305-62-0

4. 応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移動させ、体を毛布等で覆って安静に保つ。
呼吸困難に陥った場合は、衣類を緩め気道を確保した上で酸素吸入あるいは人工呼吸を行う。
必要に応じて医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合　：　汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。
付着した部分は流水で流した後、石けんを用いてよく洗い落とす。
痒み、痛み等、皮膚に異常が生じた場合は医師の診察を受ける。

眼に入った場合　：　清浄な水で最低 15 分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
洗眼の際、まぶたを指でよく開き、眼球のすみずみまでよく水が行きわたるように目を上下左右に動かす。

飲み込んだ場合　：　水で口の中をすすぎ、医師の診察を受ける。
無理に吐かせてはならない。
嘔吐が自然に起こった場合は、気管に入らないように身体を傾ける。

5. 火災時の措置

この製品自体は不燃性であるが、容器／包装等が燃えた場合には、通常の方法で消火する。

適切な消火剤　：　耐アルコール性泡、二酸化炭素、粉末、乾燥砂
使ってはならない消火剤　：　情報なし
火災時の特有の危険有害性　：　有毒なガスが発生するおそれがある。
特有の消火方法　：　周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却する。
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
容器内に水を入れない。
消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
：　消火作業は必ず自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：　漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
回収作業の際には保護具を着用すること。
風下で回収作業をしてはならない。

環境に対する注意事項　：　不必要に下水、河川、排水溝等に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

：　飛散しないように注意しながら、ほうきで掃き集める。
回収物は「13. 廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　：　必要に応じて排気装置を用いる等、換気の良い場所で取扱うことが望ましい。
本製品のばく露は極力避けること。
本製品はアルカリ性が高いため、ばく露のおそれがある場合は適切な保護具を使用すること。
取扱い時には、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はうがい、手洗い、洗顔を励行する。

保管

安全な保管条件　：　容器は確実に密閉し、施錠して保管する。
直射日光及び高温を避け、乾燥した換気のよい場所に保存する。
混触危険物質から離して保管する。（第 10 項参照）

安全な容器包装材料　：　データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：　土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じんの管理濃度は、下記の計算式を用いる。

$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$

注）E：管理濃度（mg/m^3）　Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率（%）

許容濃度　：　日本産業衛生学会

第 3 種粉塵（吸入性粉塵）2mg/m^3　（総粉塵）8mg/m^3（その他の無機および有機粉塵）

ACGIH-TLV

（TWA）5mg/m^3（水酸化カルシウム）　注）（TWA）：時間荷重平均値（8 時間）

設備対策　：　設備／装置全体を密閉化するか、局所排気装置を設置するのが望ましい。
取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置するのが望ましい。

保護具　呼吸器用保護具　：　防じんマスク（DS1, DS2, SD3, RS1, RS2, RS3）、送気マスク等
手の保護具　：　保護手袋
眼、顔面の保護具　：　保護眼鏡又は防災面
皮膚及び身体の保護具　：　保護衣、保護長靴、前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：　粉末
色　：　白色
臭い　：　無臭
融点／凝固点　：　データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
：　データなし
引火点　：　不燃性
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　580℃
pH　：　中程度の強さの塩基

動粘性率	：	データなし
溶解度	：	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び／又は相対密度	：	2.2
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：	危険有害反応可能性の項参照。
化学的安定性	：	通常の取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	：	混触危険質物質に触れると反応するおそれがある。
避けるべき条件	：	直射日光、高温、湿気。
混触危険物質	：	酸、水の存在下で多くの金属を侵す。
危険有害な分解生成物	：	高温に晒されると有毒なガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性 ：
- 経口毒性　水酸化カルシウム　区分に該当しない：ラット　LD_{50}　7340 mg/kg
  注）LD_{50}：半数致死用量
- 経皮毒性　データなし
- 吸入毒性　データなし

皮膚腐食性／刺激性 ：
- 水酸化カルシウム　区分２：強塩基性物質であり、ヒトの皮膚に対し、軽度～中等度の刺激性を示した。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ：
- 水酸化カルシウム　区分１：強塩基性物質であり、眼刺激性試験において、腐食性を示した。

呼吸器感作性	：	データなし
皮膚感作性	：	データなし
生殖細胞変異原性	：	データなし
発がん性	：	データなし
生殖毒性	：	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：	水酸化カルシウム　区分１：呼吸器系への障害が報告されている。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：	データなし
誤えん有害性	：	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	：	データなし
残留性・分解性	：	データなし
生体蓄積性	：	データなし
土壌中の移動性	：	データなし
オゾン層への有害性	：	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 ： 関係法令を遵守し、自治体の指示に従うこと。
土壌に浸透させたり、下水、河川等に流してはならない。
残余廃棄物及び廃液等は、許可を受けた専門業者に委託する。
廃棄処理を行う場合は「10. 安定性及び反応性」の項を参照の上、事前に安全性を十分に確認すること。

汚染容器及び包装 ： 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号 ： 非該当
品名 ： 非該当
国連分類 ： 非該当
容器等級 ： 非該当
海洋汚染物質 ： 非該当
MARPOL 条約及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
： 非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策
： 直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
車両等への積み下ろしの際は、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、車止めを施す。
「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載に準じて取扱う。
輸送関係法規を厳守する。
国内規制がある場合の規制情報
陸上輸送 ： 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に従う
海上輸送 ： 船舶安全法、港則法に従う
航空輸送 ： 航空法に従う
応急措置指針番号 ： 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法 ： 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（リスクアセスメント対象）
（水酸化カルシウム）
消防法 ： 非該当
毒物及び劇物取締法 ： 非該当
化学物質排出把握管理促進法 ： 非該当

※発じんを伴う作業が発生する場合には、以下の法律に該当する場合がある。
労働安全衛生法 ： 粉じん障害防止規則（粉じん則）
じん肺法 ： 健康管理の対象となる粉じん作業（施行規則 2 条）

16. その他の情報

記載内容の問合せ先	：	ホクサン株式会社　営業部　業務課 〒061-1111　北海道北広島市北の里 27 番地 4　　TEL　011-370-2333
引用文献	：	北海道石灰化工㈱　安全データシート（消石灰（工業用消石灰））　2022 年 1 月 31 日作成
免責条項	：	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであって、特別な取扱いをする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。